

授賞式

3/5 (日) 13:00 ~ 14:00

どなたでも参加できます!

会場：イオンモールつくば 特設ブース (1F)

目的

2016年に活躍したスポーツパーソンや団体を表彰することで、地域スポーツ関係者に限らず、多くの地域住民にその取り組みをPRし、スポーツコミュニティを活性化する。  
また、競技成績だけでなく地道な活動や手本にすべき活動にもスポットを当て、子どもから高齢者まで、地域住民に夢と希望を与える取り組みを紹介することで、研究、教育に次ぐ「スポーツの街つくば」の構築を目指す。

■主催 NPO 法人アクティブつくば つくば市

## 2016ノミネート者一覧

No,1 『Interest』  
(HOUSE ダンスチーム)



『キラチャレ 2016 決勝大会ダンス部門 kids』グランプリ、『ダンスチャンネル ALL JAPAN SUPER KIDS DANCE CONTEST 2016 関東 2 回戦予選小学生部門』優勝など、2016年に輝かしい成績を収めた HOUSE ダンスチーム。圧倒的な練習量と高い技術力、そして抜群のチームワークで見ている者の心を掴むダンスは、小学生とは思えない。茨城を代表し、様々な地域で活躍する2人の姿には、今後の茨城のHOUSEダンスシーンの盛り上がり期待させる。まだまだ発展途上の2人だが、その溢れる才能と弛まぬ努力で、今後益々活躍してくれることは間違いない。

No,2 金子雅紀  
(Yuras、筑波大学大学院)



筑波大学大学院で勉学に勤しむと同時に、Yurasに所属するスイマーとして活躍している。特に今年は短水路日本新記録樹立、200mメドレーリレーの背泳ぎ泳者として日本新記録樹立に貢献、オリンピックリオデジャネイロ大会出場、そしてワールドカップ東京大会(兼日本短水路選手権)において優勝(100mと200mの二冠)を果たすなど大活躍した。また12月7日~11日に開催された第13回ウィンザー世界水泳選手権(25m)2016の日本代表として出場し、銅メダルを獲得。今後益々の期待されている。

No,3 小西 夏生 さん



小学2年生から新体操を始め、中学2年生より親元を離れ、AEON新体操クラブの強化選手として活動を開始する。2010年広州アジア大会で銅メダルを獲得するなど、国内外の大会で活躍した。2014年に現役を引退後は、サムライ・ロック・オーケストラの新体操パフォーマーとして全国公演をする傍ら、つくばにて新体操普及活動を展開するなど、新体操を基盤としたスポーツ普及活動に尽力している。

No,4 笹村 奈央 さん



『第29回こうべ全国洋舞コンクールモダンダンス部門モダンダンスジュニア2部』1位、『2016全国つくば洋舞コンクールモダン部門ジュニア2』1位など、2016年に様々なコンクールにて輝かしい成績を収めた。中学2年生ながら、柔軟な身体とそれを活かした表現力溢れるパフォーマンスは見ている者の心を惹きつけ、今後益々の活躍を予感させる。また、地道な練習をコツコツと積み重ね、常に進化し続ける彼女の姿が刺激となり、より一層練習に打ち込んでいる子供たちも多く、仲間や後輩たちの良い見本となっている。

No,5 鈴木 徹 さん  
(筑波大学大学院)



筑波大学院生として、研究者とアスリートの両立を目指すデュアルキャリアのあり方は、若いパラアスリートのロールモデルとなっている。  
Rlo2016パラリンピック大会  
男子走高跳T44 第4位

No,6 仲井 健人 さん  
(つくばFCネクスト)



難聴で耳がほとんど聞こえない中、筑波大学時代は名門筑波大学蹴球部に所属し、読唇術を用いて積極的にコミュニケーションをはかり、健常者と同じフィールドで激しい練習に励んだ。一方で、筑波大学在学中に、2012年デフサッカーワールドカップで日本代表デビューし、2016年は、デフサッカーワールドカップ2016日本代表に選出され、5試合全試合フル出場した。彼のサッカーに取り組み姿勢は真剣そのもので、その姿はチームメイトのみならず、一般社会で暮らす多くの人々にも見習うべきものである。尚現在は、筑波大学大学院に進学し、つくばFCネクスト(茨城県社会人サッカーリーグ2部)で汗を流す一方、デフサッカー普及の為に尽力している。

No,7 筑波大学蹴球部  
(筑波大学体育会サッカー部)



今年度で創部120周年を迎えた大学サッカーにおける名門校であるが、一昨年は関東リーグにおいて屈辱の2部落ちを経験した。昨年度は「不撓(不屈)」を合い言葉に苦しい練習に耐え、1年で1部に復帰した。今年度は関東大学サッカーリーグ2位、そして第69回全日本大学サッカー選手権大会において13大会ぶり9度目の優勝を果たした。

No,8 つくばロープスキッピングクラブ  
(日本代表チーム)



7月にスウェーデンで行われた、第11回世界ロープスキッピング選手権大会15歳以上男子団体戦シングルロープ4人フリースタイルにおいて強豪中国を抑えて金メダルを獲得。メンバー4名は小学校の体育館で自らの技を磨きながら、アクティブつくばのなわとび専門教室の講師として市内の小中学生に縄跳びの指導も行い、その子どもたちが全日本大会に出場していくなど広くスポーツ活動に貢献している。

- ・藤田 惇平(ふじたじゅんぺい 筑波大学1年)
  - ・関 康平(せきこうへい 牛久米進高校3年)
  - ・稲葉 海哉(いなばかいや 常総学院高校2年)
  - ・宮本 智裕(みやもとともひろ 茗溪学園高校1年)
- ※4名つくば市在中

No,9 土生都直哉 さん  
(フォレストアドベンチャーマネージャー)



筑波学院大学を卒業後、アクティブつくばのスタッフとして活動を展開。その経験を活かし、海外で本格的に野外活動の知識と技術を習得。現在は、フォレストアドベンチャーのマネージャーとして野外活動の素晴らしさを多くの人に伝える他、筑波山のガイドとしても活躍の場を広げている。また、野外活動の経験を生かした独自のキャンププログラムを考案し、つくば市の小学生にキャンププログラムを提供するなど、今後の活躍が大いに期待できる人物である。

No,10 茗溪学園中学校ラグビー部



第67回関東中学校ラグビーフットボール大会で4年ぶりに優勝し、さらに第36回東日本中学校ラグビーフットボール大会においても4年ぶりの優勝を果たし2冠を達成した。太陽生命カップ第7回全国中学生ラグビーフットボール大会においては5位となり過去最高の成績を収めている。多くのメンバーが茨城県選抜として4月に九州遠征をおこない、長崎選抜に競り勝ち、茨城県中学選抜として年末の第22回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会でも5位の結果を残している。

メンバーには、地元クラブ「ツクバリアンズ」や「常総クラブ」、「龍ヶ崎ドラゴンズ」などの出身選手が在籍しており、更には国体世代として今後の活躍が大いに期待されているチームである。